



石工団地・紡績工場のある街で相談会開催 暴風雨・雷の鳴り響く・相談会

3月25～26日の2日間、愛知県岡崎市の竜美丘会館において、労災・職業病相談会を開催しました。

岡崎市は日本の石材加工品の三大産地であり、街中には石工団地があります。分会の組合員の中にも市内各所に置かれた見事な灯籠やモニュメントなどを製作する技術を持った方が何人もおられます。



岡崎市周辺では良質の花崗岩を切り出す採石

場もあり、これまでの相談会でも多くの相談がありました。その他、岡崎には東レや日清紡をはじめとする大きな紡績工場や小規模な鉄工所などもあります。

これまで何度も岡崎市では相談会を行ってきて、何人もの相談者が認定されてきましたので、まだ多くのじん肺患者が潜在している可能性があるかと会場を岡崎にして期待をしました。

相談会の開催にあたり、岡崎市長の後援を受け、岡崎市の市街地区及び石工団地に計24,750部の手作りチラシを折り込みました。

しかし、連日の雨模様で特に開催日の2日間は酷く、激しい雨は降り止まず、強風注意報が出され雷が鳴り響く最悪の天候となりました。前回の相談者で岡崎の方にも電話をしましたが、「この雨では風邪をひいてしまうので…」とお断りの電話。

今月は17日の電話相談で2名の相談者があり対応中ですので、岡崎ではチラシを見て後日電話のあることに期待しています。

毎年、3月には瀬戸市で『じん肺教室』が行われてきましたが、今年から開催されなくなりました。

振動工具体験 その後の振動覚検査値に驚き 民医連振動障害研究集会の参加

3月9日と10日に、神奈川県うしおだ総合ケアセンターにおいて民医連振動病交流集会が開催されました。

開会宣言と共に、神奈川県民医連の竹内先生より、『今までの振動病検診の活動を水平展開していく』『次の人たちに、労働者を守る取り組みを引き継いでいく』という二つのメッセージがあり、この会を通じて、各地域でどのような活動があるのか共有して行ってほしいと挨拶がありました。

その後、熊本民医連の積先生より「民医連と労働組合が共に掘り起こした歴史と教訓」という題で特別講演があり、自身が携わってきた歴史や振動病への姿勢を講演していただきました。

講演の後、野外にて振動工具体験会を行い、インパクト、ピッチングハンマー、振動ドリル等の体験が行われました。体験の前後で振動覚の検査を行い、体験後の数値の悪化に参加者からは驚きの声が上がりました。

2日目は5組織から活動の報告があり、7組織から



らの演題発表がありました。建交労からは首都圏の菊池さんと、高田副会長からの演題発表があり、建交労の振動障害への取り組みや

運動の歴史の報告がありました。2日間を通して64名の参加があり、振動障害への理解が深まりました。





みんなのひろば



ご案内

※ 分会会議は未定

春が来たー！



名古屋市内の街路樹、白木蓮が満開でした。

早春の葉がでる前に、白色の大きな花が上向きに咲きます。



～国内最大級のチューリップ畑～ 富山



猫の告白

うしろの襖を破ったのも、畳をボロボロにしたのも僕です。
ごめんなさい

Line で会議・スマホの登録を

3月11日、瀬戸文化センターにおいて、第2回分会会議を行いました。会議には事務局も含めて5人の参加でしたが、組合員の高齢化、その上病状の悪化や運転免許証の返納などで、出席者が大幅に減少しています。分会の会議では労災療養において重要なことも報告していますので、参加してほしいですが出かけられない人のために、これからの会議はどうしたらよいか議論しました。

議論の中で松原執行委員長から「年々参加者が少なくなってきており、このままでは分会会議の開催が危うい。これからはZOOMを使ったオンライン会議をしながら、組合員数が増えてきたら現地開催に戻すというのはどうだろう」と提案がありました。

ZOOMでのオンライン会議を行うにあたり、難しいと感じる方も多いことでしょう。そこで、まずは、みなさんのスマホでライン登録を行い、愛知分会のライングループに入ってもらって情報共有を進めていこうという事になりました。下記のQRコードをケータイのカメラで読み取ってもらえばライングループに入ることができます。

みなさんの中でスマホを持っている方は、一度連絡ください。



4月の予定

- 6日 浜松電話相談会
- 8日 オルグ ZOOM 会議
- 11～12日 中部労働局要請内容検討会
- 18～19日 根絶記念誌配布 議員会館
- 28日 県本部 平和宣伝

